

農業(草花) 学習指導案

指導者 水沢農業高等学校 教諭 蕪木 信夫

1 対象 第2学年A組(男子9名、女子6名、計15名)

2 日時 平成18年10月12日(木) 第1校時

3 場所 2A教室

4 単元 (題材)	シクラメンの栽培
5 単元設定 の理由	<p>指導目標 草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。</p> <p>本単元の目標 鉢もの生産の主幹であるシクラメンの栽培をとおして、草花に対する興味と関心を高める。また、基本的な栽培技術を習得するとともに、草花生産および経営に関する意欲と態度を養う。</p> <p>生徒の実態 草花実習を通して「葉くみ作業」や「追肥」等は体験しているが、シクラメンに対する基本的な知識については定着していない。</p> <p>本単元で工夫する点や手立て</p> <p>栽培期間が長い草花なので、培養土の大切さ、栽培環境の重要性、病害虫の防除、品質と生産性の向上に向けての意欲ならびに態度等、草花園芸に必要な基本的知識、技術および態度を養う。また、本単元を学習することにより、知識に裏付けられた実習が実践され定着するようにする。</p>
6 単元の目 標	シクラメンの栽培をとおして、草花園芸に対する興味、関心を持たせるとともに、それらの基本的知識並びに技術を習得し、品質および生産性の向上を図る意欲と態度を育てる。
7 指導計画	<p>全6時間扱い</p> <p>第1時限目 シクラメンの栽培上並びに経営上の特性・・・・・・・・・・(本時)</p> <p>第2時限目 シクラメンの培養土について</p> <p>第3時限目 シクラメンの夏の管理、冬の管理について(栽培環境、水やり)</p> <p>第4時限目 シクラメンの病害虫と防除について(農薬について)</p> <p>第5時限目 シクラメンの品質ならびに生産性の向上について(葉くみ作業)</p> <p>第6時限目 シクラメンの流通について</p>
8 評価	<p>関心 草花に対する興味、関心がある。</p> <p>意欲 意欲的に授業や実習に取り組むことができる。</p> <p>技能 葉くみ作業が的確にできる。花がら、枯れ葉等が正確に除去できる。</p> <p>理解 草花の特性や実習内容の目的を理解する。</p>

本 時 案 （ 第 1 時 限 目 ）

本 時 案 （ 第 1 時 限 目 ）			
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンの栽培上の特性を理解する。 ・シクラメンの経営上の特性を理解する。 		
過程(時間)	学習活動	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の観点
導入 (1 0)	<ul style="list-style-type: none"> ・来歴について学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・別名「カガリビバナ」「ブタノマンジュウ」を紹介し和名の面白さを理解させる。 	
展開 (3 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・植物的な特徴を理解する。 ・栽培上の特性を理解する ・経営上の特性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、実習で見慣れているシクラメンの「葉」と「花」を板書させる。(5 名程度) ・葉の形「心臓形」や花弁の枚数、塊茎であること、花の付き方について理解させる。 (実物を見せながら説明する。) ・生育適温や生育期間について説明し、冷涼な環境で品質が良くなることや、栽培期間が他の鉢ものと比較すると長いことを理解させる。 ・シクラメンは鉢もの生産の主幹鉢花であることを理解させる。 花と葉のバランスが良い。 室内で長期間楽しめる。 花色が豊富である。 仕立てる鉢の大きさも、大小さまざまである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の実習での観察眼を評価する。 ・関心、意欲、態度 観 察 生徒個々が意欲的に取り組んでいるか。 知識・理解 ・特性が理解できたか。
終末 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンの特徴についてのまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物的な特徴、栽培上の特徴、経営上の特徴について復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・理解 ・1つの流れとして特徴を理解できたか。